



防災つじどう

発行 辻堂地区防災協議会
2022年(令和4年)2月
第30号
事務局 辻堂市民センター
TEL:0466-34-8661

コロナ禍での災害に対応する地域防災力を

会長 小川 雄二郎



2022年も2月を迎え、防災つじどう第30号をお届けいたします。皆様も新型コロナウイルス感染症第6波のなか健康に気を付けてお過ごしのことと存じます。辻堂地区防災協議会でもコロナ禍の中にあってもいつ起きるかわからない災害に備えるべく、感染症対策に配慮しながら活動を続けています。

防災リーダー講習会は3日間の講習を実施中です。また、防災講演会を2月19日(土)に辻堂市民センターで開催いたします。更に安否確認訓練を3月12日(土)に辻堂地区全体で行います。詳細は別掲の案内をご覧ください。

現在辻堂地区防災マップの2022年版を作成中です。現行の辻堂地区防災マップは2007年版でしたので15年ぶりに最新の情報を載せて発行いたします。そのために、現在それぞれの自治会・町内会に防災井戸などの災害時に役立つ施設や設備の確認等をお願いしています。桜の咲くころには新しい辻堂地区防災マップをお届けできる予定です。

コロナ禍の中、災害時の避難所の運営も従来の方法では対応できなくなっています。新たな避難所運営の仕組みを考え、さらに個別の避難所施設ごとの計画と事前の訓練も必要になります。コロナに対応できていない避難所に避難して大変な目に遭うのは私たち避難者です。しかも避難所の運営には施設管理者、避難所運営従事職員とともに自治会・町内会も避難所運営会議委員となっていますので、住民も避難所を運営する立場となります。辻堂地区に8か所ある避難所の運営委員会でそれぞれの避難所の避難施設運営計画を、コロナを踏まえた計画になるように検討をお願いしています。避難所がいつ開設されるかは全く予想がつかないので、平穏な今現在その準備を進めることしか出来ません。

どうか高い関心をもって地域の防災活動にご協力ください。

第4期「チームレスキュー」活動報告

辻堂青少年会館と辻堂地区防災協議会が共催でスタートした「チームレスキュー」も昨年12月に4期生・11名・累計53名の修了生を送り出すことができました。

この活動に参加している小学生は皆積極的に防災のことを知りたい・体験したいとの思いから熱心に講師や指導者の話に聞き入っています。

今回新たに日本損保協会/朝日新聞社/日本災害救援ボランティアネットワーク主催・内閣府/文科省/消防庁等後援の「小学生の防災探検隊マップコンクール」(「防災探検隊」とは、楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する(マップ作成アプリ搭載のタブレットが無料貸し出しできる)実践的な安全教育プログラム)にもチャレンジいたしました。今回は賞の獲得には至りませんでした。今後も機会があれば新たな挑戦を試みたいと思います。



6月12日 街歩き防火用水槽見学

ここに第4期生を代表し、高砂小学校4年生の岩岸祥芳(いわさき さちほ)くんの感想文をご紹介します。

『今まで、災害についてよく分らなかったけれど、「チームレスキュー」に参加し、いろんな活動で災害について学ぶことができました。「災害はいつやってくるのかは、誰にもわかりません」いざという時にそなえて、防災バックやハザードマップをじゅんびしておきたいです。最後に、一人一人が自分で考え行動することが、本当に大切だと思いました』

なお、第5期「チームレスキュー」も継続して実施いたします。プログラムは現在検討中です。



11月20日 南消防署辻堂出張所見学

活動報告

- ・ 5月30日(日) オリエンテーション・小川会長講話、災害・防災とは?
- ・ 6月12日(土) 辻堂のまちを防災の視点から歩く(駅前町内会協力)
- ・ 6月26日(土) 危険箇所、安全施設を発見・防災地図作り
- ・ 7月10日(土) 番外編 水辺の安全教室・県立辻堂海浜公園ジャンボプール
- ・ 7月31日(土) タブレットで防災マップ作り
- ・ 8月19日(木) 災害後のサバイバルちょこっと体験
- ・ 9月20日(祝) 家具転倒防止ワークショップ
- ・ 10月30日(土) 災害体験(県防災センター見学)
- ・ 11月20日(土) 辻堂地区防災拠点見学(南消防署辻堂出張所・辻堂市民センター)
- ・ 12月4日(土) ふり返り・修了式

(記 池野 優幸)

防災リーダー講習会の報告と案内

防災リーダー講習会は、地域の自主防災組織を強化し、活性化を図るため、その組織の中核となるリーダーの育成を目的として実施し、有事に効果的かつ実践的な活動ができる人材を一人でも多く生み出せるように、毎年継続的に実施している事業です。

すべての事象に対応できる人材育成が理想ではありますが、講習に長い期間が必要となる等の理由から実施は難しいです。そのため、講習内容を絞り、「浅くとも幅広く」を目途に多くの地域住民の方に受講していただき、受講を契機に、リーダー意識をお持ちいただくとともに、日常生活の中で防災に興味をお持ちいただければ幸いです。



発電機の操作方法



簡易間仕切りの設置方法

令和3年度講習会日程

	(内容)	(担当)
12月19日(日)	災害に備えて被災体験談等 起震車による地震模擬体験 応急救護における三角巾の取扱い	危機管理課指導員 危機管理課指導員 南消防署辻堂出張所職員
1月22日(土)	消火器の概要と使用方法 発電機の操作方法 簡易間仕切りとトイレの設置方法	防災協議会役員 防災協議会役員 防災協議会役員
2月19日(土)	救急救命 心肺蘇生法とAEDの使用方法	まん延防止等重点措置期間のため中止
2月26日(土)	救急救命 心肺蘇生法とAEDの使用方法	まん延防止等重点措置期間のため中止

(記 望月 賢二)

「無事ですタオル」で大地震発生時の安否確認対応

「無事ですタオル」を利用して、大地震が発生した時の住民の安否確認を行えるようにしたらどうかとの意見が出されたのが2020年(令和2年)の夏。その年の1月28日に茨城県常総市根新田地区の自主防災組織を自治連・防災協議会が合同で視察研修に行き様々な取り組みを見聞したことに始まります。

途中、コロナが蔓延し、「コロナを踏まえた避難施設運営トレーニング(高砂小学校)」を優先せざるを得ず、第1回の安否確認検討委員会が開かれたのが2020年(令和2年)12月6日。以来今日まで先行して安否確認訓練を実施されてきた辻堂南海岸町内会、太平台明和会、辻堂団地自治会の経験談をうかがいながら、ルール作り、「無事ですタオル」の希望枚数把握・購入・配布、そして各自治会・町内会毎の事前訓練という経緯をたどり今日を迎えることができました。

いよいよ、3月12日(土)10時より、辻堂地区合同の安否確認訓練を実施いたします。詳細は本紙と同時配布の「安否確認訓練」をご参照ください。

(記 池野 優幸)



辻堂地区防災マップ (2007年3月発行)の全面改訂

辻堂地区防災マップについては、2007年3月に発行しましたが、当時の地図と現在の地図とではまちの様子も大きく変わりました。そのため、全面改訂し今年度発行に向けて現在作成しています。

辻堂地区の皆様には、自治会・町内会をとおして各戸に春頃配布する予定です。

(記 事務局)



災害情報の収集方法を確認しましょう!

基本は、ラジオ!レディオ湘南(83.1MHz)、NHK FM(81.9MHz)、そのほか、防災行政無線、メールマガジン、テレビ、インターネット、防災ラジオ、スマートフォンアプリなどあらゆる手段で行いましょう。

□ 防災行政無線が聞こえにくかったら

▶テレドーム ☎ 0180-994-144

※放送終了後に電話で放送内容を確認できます。

□ 防災ラジオ

□ ツイッター



(記 事務局)